

ふるさとふちゅう

【第19回】府中町で体験、四国お遍路（4） 〜道隆寺（2）道隆寺前史〜

再発見

前回、道隆寺の名称の由来を紹介しましたが、その前身となる寺院はもっと古く、寺伝では大同元（806）年とされています。唐に渡った空海（弘法大師）が帰国後、安芸国府中に寺院を建立し、府白山無量寿院薬王寺と名付けたというものです。薬王寺には弘法大師作の本尊薬師如来、日光月光菩薩などが安置されたと伝えられています。「代々の国司が法要供養を勤め、当国上下の信仰が篤かった」ともあります。位置は現道隆寺の



国土地理院地図に筆者が加筆

北部にある呉婆々宇山の中腹、標高約400mのところ、その跡が伝寺屋敷跡です。現在は木々や草に覆われていますが、古くに「石ころび山の寺屋敷」とも呼ばれていました。試掘で石垣や削平地が確認され、土師器や土師質土器が出土しています。

正徳2（1712）年の「安芸郡府中村寺社堂古跡帳」（安芸府中町史第二巻）には真言宗桑多山安芸院道隆寺の仏像の記録があり、そこに「右開地は大同年中之由申伝候、開基知し不申候」とあり、その後藤原道隆による寺名変更などが記されています。大同年間に開かれたが、誰が開基かは分からないということです。開基の年は伝えられているが大切な開基弘法大師のことは分からないということです。そんなことがあるのでしょうか。

大同元（806）年は平安

時代ですが、現道隆寺の周辺では、古い奈良時代（710年〜794年）の寺院らしき痕跡が発見されています。「下岡田遺跡発掘調査報告書」（2002年発行）には平成7（1995）年の「道隆寺下遺跡」の発掘で素弁蓮華紋軒丸瓦が出土し、石列や礎石が検出され寺院遺跡の一部ではないかと記述しています。

聖武天皇は天平13（741）年、全国に国分寺・国分尼寺の建立を命じました。安芸国では東広島市に国分寺跡が確認され、国史跡に指定されていますが、国府とされる府中からかなり離れています。近くに寺院があっても不思議ではありません。道隆寺は、昨年3月に国史跡に指定された下岡田官衙遺跡の近くで、古代の府中を知る寺院です。

府中町文化財保護審議会委員

菅 信博

健康に役立つ情報を紹介

朝パッ君の耳より情報

梅雨明け後の急な暑さに注意しよう！

暑さ指数（WBGT）や熱中症警戒アラートを確認して 熱中症を予防しましょう 健康推進課 ☎286-3257

◆暑さ指数（WBGT）

気温、湿度、輻射熱（日差しなど）からなる熱中症の危険性を5段階で示す指標です。「駐車場」「住宅地」「子供」などの項目があり、より細かい暑さ指数の実況・予測値が確認できます。

◆熱中症警戒アラート

熱中症の危険性が極めて高くなると予想される日の、前日夕方または当日早朝に発表されます。アラートが発表された日は、積極的に熱中症予防行動を取りましょう。

環境省熱中症予防情報サイト▶

熱中症予防行動

- 暑さを避ける
涼しい服装を心掛け、外出する時には日傘や帽子を活用する。
- こまめな水分補給
のどの渇きを感じる前に水分補給を行い、多量に汗をかいた場合は塩分も補給する。
- マスクを外す
屋外で人と十分な距離（2m）を確保できる場合は、適宜マスクを外す。